

2022年12月2日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
(コード番号 8306)

株式会社三菱 UFJ 銀行
米州 MUFG ホールディングスコーポレーション

MUFG Union Bank 株式の譲渡および U.S. Bancorp 株式の取得の完了について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）および株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、MUFG の米国子会社である米州 MUFG ホールディングスコーポレーション（CEO Kevin Cronin、以下 MUAH）を通じて保有する MUFG Union Bank, N.A.（以下 ユニオンバンク）の全株式を U.S. Bancorp（以下 USB）に譲渡すること（以下 本株式譲渡）について USB と合意し、2021 年 9 月 21 日に公表^[1]いたしました。

本株式譲渡につきましては、取引実行のための前提条件を全て充足し、2022 年 12 月 1 日（米国時間）に完了しました。同日、当行および MUAH は、本株式譲渡の対価として 55 億米ドルと、USB 株式約 44 百万株（USB の発行済み株式の約 3%）を受領し、加えて本株式譲渡から 5 年以内に USB から 35 億米ドルを受領する予定です。なお、本株式譲渡の実行前に、ユニオンバンクは MUAH に対して約 46 億米ドルの配当を実施しております。

また、MUFG は USB との間で業務提携契約を締結し、米国に居住する個人のお客さまに対する口座開設サービスの継続などについて合意いたしました。今後、デジタル領域や日系のお客さま向けのサービスなど、MUFG・USB 双方の強みを活かせる分野や相互補完が可能な分野での提携施策の具体化・拡大を目指す予定です。

本株式譲渡後も MUFG にとって米国市場の重要性は不変であり、今後はモルガン・スタンレーとの提携など MUFG の強みを生かせる法人取引に経営資源を集中するとともに、USB との業務提携を通じて、新たな成長を実現することを目指してまいります。

なお、MUFG の 2022 年度通期連結業績目標^[3]には、本株式譲渡および業務提携に関連する影響を織り込み済みであり、業績目標の変更はございません。

^[1] 2021 年 9 月 21 日付の「MUFG Union Bank 株式の譲渡契約締結および U.S. Bancorp 株式の取得について」は以下をご参照ください。

https://www.muftg.jp/dam/pressrelease/2021/pdf/news-20210921-001_ja.pdf

^[2] ユニオンバンクの想定有形純資産額 62.5 億米ドルを前提とした余剰資本分です。

^[3] 2022 年度通期連結業績目標は以下（2 ページ）をご参照ください。

https://www.muftg.jp/dam/ir/fs/2022/pdf/highlights2209_ja.pdf

MUFG による将来予想に関する記述についての注意事項

本資料には将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、「予定する」、「見込む」やその他類似する表現により将来の状況等を説明しております。実際の結果等は、将来予想に関する記述にて見込まれる予想とは大幅に異なる場合があります。MUFG は、法令により求められる場合を除き、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を負いません。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述はあくまでも現時点でのものであり過度に依存いただくことのないようご注意ください。

以 上

(照会先)

三菱 UFJ フィナンシャル・グループ 広報部 03-5218-1815